

評価委員として

内藤 壽七郎

両親の子どもへの関わり合いを長年観察してみても言えることは普通の家庭では、15歳位まで子どもにとって影響力の強いのは母親であり、父親は15歳以後になって母親と交替するということである。世界の先進国の間勿論日本を含めて、母の家庭外の就労は65%以上と言われている。中学校生の校内暴力、高校生の家庭内暴力などの問題が社会の問題となっているとき、母と子の相互関係について科学的に研究されることになったことは日本ばかりでなく国際的にみても極めて有意義のことである。

研究班の構成は、心理学、教育学、社会学、産科学、工学、小児科と極めて学際的な研究者を以てされ、研究発表の場は非常に活発な論議が交わされ班会議は熱のこもったものであった。その中からほんの一つ二つについて述べてみる。

猿と犬を用いた研究が発表された。母子相互作用の結果を得るまで人間では長い時間を要するが猿犬等では成育期間の関係で出生後早期に与えられた影響が数年後に観取できる利点があり比較行動学の点からも極めて有意義なもので大きな示唆を与えたものであった。

工学と小児科学との美事なコンビで、極めて至難である情緒反応の微細な動きを数量的にコンピューターを用いて把握できるようになったことは世界の最先端を行くものとして評価されて然る可きであろう。これがアメリカであればどんどんこの器械が応用されてゆくであろうに思うと、日本での発展を期して已まない。

新生児期更に胎児期に及ぶ研究も少なくなかった。新生児期に少しでもより密接な母子関係を与える必要のある研究結果が多かったことは今後の病産院出産後の新生児の取扱いに対して大きな示唆を与えたものと言えよう。

之についてもその基礎研究の一つと言える新生児の姿勢統御の研究で、腹臥位がその重点の移動も少なく、仰臥位よりも安定していると解釈できる報告は、仰臥位の場合は安定を求めて手足や体の動きがより多いのか、とにかく今後新生児の扱いに関して参考にすべきものと思われた。

新生児の嗅覚、母乳の匂いに関する研究は、その一定の結果は得られなかったとしても独創的な研究方法は評価されてよい。

自閉症についてその乳児期栄養法別に追究し発生頻度は母乳が最も少なく次に混合、人工が最も多い傾向を有していたとの報告あり、乳汁の質によるものか、母子関係が母乳保育により更に密になるためによるか今後の追究が望まれる。同じく自閉症の Neural circuit について神経学検査の最新の方法を駆使して視床下部の或る一部分が乳児期に障害が起これば自閉症となり、成人後の場合はシゾフレ

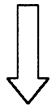
ニ一となるとの推論は環境刺激の与え方による予防も理論的に可能を思わせるものであった。

この他何れもよくも短期間のうちにこれだけの成果を挙げられたと申したいものばかり。願わくばこの課題が引きつづいて更に大きな成果を得るよう継続されることを要望して已まない。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



両親の子どもへの関わり合いを長年観察してみても言えることは普通の家庭では、15 歳位まで子どもにとって影響力の強いのは母親であり、父親は 15 歳以後になって母親と交替するということである。世界の先進国の間勿論日本を含めて、母の家庭外の就労は 65%以上と言われている。中学校生の校内暴力、高校生の家庭内暴力などの問題が社会の問題となつているとき、母と子の相互関係について科学的に研究されることになったことは日本ばかりでなく国際的にみても極めて有意義のことである。

研究班の構成は、心理学、教育学、社会学、産科学、工学、小児科と極めて学際的な研究者を以てされ、研究発表の場は非常に活発な論議が交わされ班会議は熱のこもったものであった。その中からほんの一つ二つについて述べてみる。